



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 エスケー化研株式会社
 コード番号 4628 URL <https://www.sk-kaken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 実広
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 竹内 正博
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-621-7720

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	45,529	7.9	4,549	7.5	8,828	69.7	6,032	68.2
2022年3月期第2四半期	42,178		4,918	21.5	5,203	33.7	3,586	33.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 8,126百万円 (79.3%) 2022年3月期第2四半期 4,531百万円 (95.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	2,237.40	
2022年3月期第2四半期	1,330.06	

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。これにより、売上高につきましては、対前年同四半期増減率は記載していませんが、営業利益以下の利益につきましては、当該会計基準等を適用したことによる数値への影響がありませんので対前年同四半期増減率を記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	165,755	138,690	83.7
2022年3月期	157,468	131,643	83.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 138,690百万円 2022年3月期 131,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		400.00	400.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				400.00	400.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 100円00銭 特別配当 300円00銭

2023年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 100円00銭 特別配当 300円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	3.1	9,700	6.8	10,800	16.5	7,400	16.2	2,744.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,134,777 株	2022年3月期	3,134,777 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	438,469 株	2022年3月期	438,469 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	2,696,308 株	2022年3月期2Q	2,696,311 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大が見られたものの、感染対策が進み、経済社会活動が正常化する中で、景気は持ち直しの動きがみられました。しかしながら、米国の金利上昇による急激な円安による為替相場の変動や長期化するロシア・ウクライナ情勢に起因する原油などのエネルギー資源や原材料価格の高騰等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした大規模再開発案件の需要や戸建と集合住宅等民間の改装需要が持ち直してきました。一方では、慢性的な人材不足による現場技術者及び現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、建築費・人件費の高騰等厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、原価の低減と経費削減に努めるとともに、引き続き、新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、地球温暖化現象に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は455億29百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。利益面におきましては、価格改定や経費削減等を行いました。営業利益は45億49百万円（同7.5%減）、経常利益は、為替変動の影響等により、88億28百万円（同69.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億32百万円（同68.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、新築需要が減少いたしました。リニューアル市場においては超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行なったことにより、売上高は414億3百万円（同7.8%増）と前年同四半期に比べて29億80百万円の増収となりました。セグメント利益は53億10百万円（同6.5%減）と前年同四半期に比べて3億70百万円の減益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏、都市部の再開発事業における受注が続いており、売上高は30億56百万円（同5.8%増）と前年同四半期に比べて1億67百万円の増収となりました。セグメント利益は3億38百万円（同23.7%増）と前年同四半期に比べて64百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は10億68百万円（同23.3%増）と前年同四半期に比べて2億1百万円の増収となりました。セグメント利益は41百万円（同22.8%減）と前年同四半期に比べて12百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて82億86百万円増加し、1,657億55百万円（前連結会計年度末比5.3%増）となりました。

増加した主なものは、投資有価証券45億98百万円（同152.4%増）、現金及び預金10億17百万円（同1.0%増）、有価証券6億72百万円（同18.3%増）、受取手形及び売掛金5億44百万円（同3.2%増）、電子記録債権4億85百万円（同24.0%増）であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて12億39百万円増加し、270億64百万円（同4.8%増）となりました。

増加した主なものは、支払手形及び買掛金8億56百万円（同11.6%増）、未払法人税等3億66百万円（同14.6%増）であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて70億47百万円増加し、1,386億90百万円（同5.4%増）となりました。

増加した主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益を含む利益剰余金49億54百万円（同3.7%増）、為替換算調整勘定20億97百万円（同132.8%増）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、2022年5月13日に公表しました2023年3月期の連結業績予想通期に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	106,717	107,734
受取手形及び売掛金	16,837	17,382
電子記録債権	2,022	2,508
有価証券	3,671	4,344
商品及び製品	1,925	1,974
仕掛品	1,082	1,253
未成工事支出金	195	367
原材料及び貯蔵品	4,054	4,324
その他	727	739
貸倒引当金	△33	△9
流動資産合計	137,200	140,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,664	3,638
機械装置及び運搬具（純額）	190	176
土地	8,213	8,264
建設仮勘定	13	44
その他（純額）	802	864
有形固定資産合計	12,884	12,988
無形固定資産	751	836
投資その他の資産		
投資有価証券	3,017	7,616
繰延税金資産	64	15
退職給付に係る資産	1,338	1,354
その他	2,328	2,462
貸倒引当金	△117	△138
投資その他の資産合計	6,632	11,310
固定資産合計	20,267	25,135
資産合計	157,468	165,755

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,381	8,238
短期借入金	3,110	3,250
未払金	5,490	5,484
未払法人税等	2,513	2,880
賞与引当金	1,580	1,383
役員賞与引当金	82	41
製品保証引当金	108	95
その他	1,723	1,649
流動負債合計	21,991	23,023
固定負債		
繰延税金負債	87	162
役員退職慰労引当金	1,232	1,240
退職給付に係る負債	151	144
その他	2,362	2,493
固定負債合計	3,833	4,041
負債合計	25,825	27,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	133,740	138,694
自己株式	△9,518	△9,518
株主資本合計	130,021	134,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	1
為替換算調整勘定	1,579	3,677
退職給付に係る調整累計額	39	36
その他の包括利益累計額合計	1,621	3,714
純資産合計	131,643	138,690
負債純資産合計	157,468	165,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	42,178	45,529
売上原価	28,947	32,418
売上総利益	13,230	13,110
販売費及び一般管理費	8,311	8,561
営業利益	4,918	4,549
営業外収益		
受取利息	101	188
受取配当金	0	0
仕入割引	26	23
為替差益	98	3,962
為替換算調整勘定取崩益	23	—
雑収入	53	121
営業外収益合計	303	4,296
営業外費用		
支払利息	12	14
雑損失	6	2
営業外費用合計	19	17
経常利益	5,203	8,828
税金等調整前四半期純利益	5,203	8,828
法人税、住民税及び事業税	1,605	2,678
法人税等調整額	11	116
法人税等合計	1,617	2,795
四半期純利益	3,586	6,032
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,586	6,032

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,586	6,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	943	2,097
退職給付に係る調整額	0	△3
その他の包括利益合計	944	2,093
四半期包括利益	4,531	8,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,531	8,126
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,203	8,828
減価償却費	242	251
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△29	△26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16	△200
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	△41
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	△6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12	7
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	0	△12
受取利息及び受取配当金	△101	△188
支払利息	12	14
為替差損益 (△は益)	△83	△3,902
固定資産除売却損益 (△は益)	3	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△202	△589
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△580	△348
仕入債務の増減額 (△は減少)	610	590
その他	△206	△370
小計	4,839	4,004
利息及び配当金の受取額	117	131
利息の支払額	△12	△14
法人税等の支払額	△1,830	△2,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,113	1,803
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,649	△19,491
定期預金の払戻による収入	15,952	17,927
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	—	△4,600
固定資産の取得による支出	△65	△91
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	17	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,744	△6,256
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,016	1,229
短期借入金の返済による支出	△1,000	△1,117
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,077	△1,077
その他の支出	△50	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,112	△1,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	330	1,123
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,412	△4,361
現金及び現金同等物の期首残高	74,974	72,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,562	68,275

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
日本	33,156	2,834	35,991	866	36,857	—	36,857
アジア	5,266	54	5,321	0	5,321	—	5,321
顧客との契約から生 じる収益	38,423	2,888	41,312	866	42,178	—	42,178
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	38,423	2,888	41,312	866	42,178	—	42,178
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	1	△1	—
計	38,423	2,888	41,312	867	42,179	△1	42,178
セグメント利益	5,680	273	5,954	53	6,007	△1,089	4,918

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,090百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
日本	35,234	3,013	38,248	1,068	39,316	—	39,316
アジア	6,169	43	6,212	0	6,212	—	6,212
顧客との契約から生 じる収益	41,403	3,056	44,460	1,068	45,529	—	45,529
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	41,403	3,056	44,460	1,068	45,529	—	45,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	1	△1	—
計	41,404	3,056	44,461	1,069	45,530	△1	45,529
セグメント利益	5,310	338	5,649	41	5,690	△1,140	4,549

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,142百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。